

開講年次・時期	2年後期	授業回数	8回	時間数	15時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	1単位
---------	------	------	----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK210	科目名	子どもと言葉	担当者名	成田 恵子
授業の概要	領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を身に付ける。具体的には、人間の証といえる「言葉」の意義と機能について理解した上で、幼児の言葉を育て、言葉に対する感覚を豊かにする教材や実践に関する知識を身に付ける。				
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』に示された領域「言葉」のねらい及び内容を理解する。 ・幼児の発達や学びの課程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。 				
DP(10のあけのほしパワー)の観点	⑥専門知識・技能 ⑦思考力 ⑧実践力				
授業時間外学修(予習・復習)	<ul style="list-style-type: none"> ・『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「言葉」のねらいと内容を理解する。 ・テキストの予習をする。 				
フィードバックの方法	提出されたレポート課題については、コメントをつけて返却し、講義時間内に課題の解説を行う。実践また、最終レポートは、採点后、得点を通知し、返却する。				
単位認定の要件	言葉遊び、児童文化財を取り入れた実践や模擬保育の発表と最終レポートについて評価の基準を満たすことを要件とする。				
評価の方法・割合(%)	授業への参加度(グループ活動、発表、模擬保育等) 70%、 レポート課題 30%				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			人間にとって「言葉」とは何か？ －人間にとっての言葉の意義と機能	⑥⑦⑧	ミニッツペーパー
2			DVDの視聴を通して、子どもの言葉の発達過程と言葉のもつ意義や機能の理解を深める。	⑥⑦⑧	ミニッツペーパー
3			言葉に対する感覚を豊かにする実践(1) －子どもと楽しむ「言葉遊び」を考えよう(演習)	②⑦⑧	ミニッツペーパー
4			言葉を育て、想像する楽しさを広げる「児童文化財」とは何か？ －子どもにとっての「児童文化財」の意義	⑥⑦⑧	グループワーク
5			言葉を育て、想像する楽しさを広げる「児童文化財」を用いた実践(2) －子どもと一緒に絵本(物語・紙芝居など)を読もう。(ICTの活用も含む)	②⑦⑧	ワークシート
6			子どもの言葉を育む保育の実践-保育実践もしくは模擬保育の実施	⑥⑦⑧	ワークシート
7			子どもの言葉を育む保育の評価と改善-保育実践もしくは模擬授業の振り返り	⑥⑦⑧	グループワーク
8			まとめ:子どもの言葉を育み、豊かにする保育実践 -「言葉」をめぐる現代的課題について考える-	⑥⑦⑩	ディスカッション
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
期末試験			期末試験		

使用テキスト	駒井美智子編(2018)『保育者をめざす人の保育内容「言葉」(みらい)』
参考文献 参考URL	『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 秋田喜代美他(2020)「子どもの姿からはじめる領域・言葉」、みらい
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DP(10のあけのほしパワー)	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-----------------	--

授業の自己評価	
---------	--